

## 2015年度 北海道農業経済学会大会 『岐路に立つ地域農業～生乳流通の新展開を手掛かりに』

日本の農業や畜産は、TPP 交渉をはじめとして国際化の伸展の中で、大きな岐路に立たされています。と同時に、農業者の高齢化から担い手の弱体化が進んでいます。北海道の酪農は、海外飼料に大きく依存する中、飼料価格の高騰によって大規模経営が苦境に陥るとともに、毎年 200 戸を超える離農が生じています。そのことで生乳不足が深刻化し、海外からの乳製品の緊急輸入が行なわれるとともに、これまでの生乳の流通ルートとは別のルートが出てきています。新たな展開の可能性を含めて、各報告者より、地域農業への影響も含めた北海道酪農の今後について、現在ご活躍されているお立場から持論を展開していただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

北海道農業経済学会 2015 年度会長 酪農学園大学 荒木和秋

### 【1】 日程および会場

日程:2015 年 10 月 17 日(土) 13:00~17:30

会場:酪農学園大学 C1号館101 12:30 受付開始

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582 番地 <http://www.rakuno.ac.jp/>

大会参加費:会員 2,000 円 非会員 3,000 円 (事前申し込みは不要です。)

### 【2】 シンポジウム

座長:荒木 和秋(酪農学園大学)、志賀 永一(帯広畜産大学)

開会挨拶・座長解題

第 1 報告 「北海道における生乳流通の現状と新たな可能性」

清水池 義治 氏 (名寄市立大学)

第 2 報告 「根釧地域の酪農家経済の動向と発展の条件」

三宅 俊輔 氏 (北海道立総合研究機構 十勝農業試験場)

第 3 報告 「北海道における生乳調達のメリットと背景」

茂木 修一 氏 (MMJ, Milk Market Japan)

第 4 報告 「地域酪農の発展と一元集荷体制の課題」

石橋 榮紀 氏 (浜中町農協組合長)

コメント 久田 徳二 氏 (北海道新聞社) 七戸 長生 氏 (北海道大学名誉教授)

総合討論・閉会挨拶

**事前申し込みは不要です。多くの方のご来場をお待ちしております。**



【問い合わせ先】

〒060-8589 札幌市北区北 9 条西 9 丁目

北海道大学農学部農業経済学科気付

北海道農業経済学会事務局 011-706-3858

E-mail: [agri.frontier@gmail.com](mailto:agri.frontier@gmail.com)